

神の子物語は茶番劇だ

【2】 主題Subjectへ戻る

<https://twitter.com/GCZsakurada/status/1411601720757522433>

◇神の子物語は茶番劇だ

そうです。天が地の役目を代行出来ても、地は天の役目を代行出来るとは限りません。
A男がB男の心（＝芯）を代行することは出来ません。

とすることで、神（＝神の子≡道徳・正義）も人間の行為（罪）を代行することは出来ません。人間も神の恩恵（＝稜威）を代行出来ません。

万物は、ポジティブな機能を全て具現している訳ではありません。

もしも神が神自身の下した罰をスルーするなら、ヒトは罰（⇒行為の代価≡権利義務）を受け入れ得なくなります（＝無秩序）。これは、自然界のルール（＝正義・道徳・摂理）を否定することになります。

思想宗教について、人々にその教義経典を信じてもらうためには、教義経典は論理的に構築されていなければいけません。即ち、思想宗教界においても、このような「正義」のルールが必要不可欠なのです。

以上、正義のルール（＝道徳）が存在しないトコロには、神もヒトも存在し得ません。

何故なら、嫉妬など意図的で片務的な関係にある「聖書物語の神」は、全方位的な役割を演じること自体あり得ないのです。(>_<)(>_<)(>_<)(>_<)

従って、如何なる聖人と雖も聖書物語的の神役（＝茶番劇）を演じる舞台は存在し得ません。

とすることで、聖書物語における神の子物語は妄想フィクションだと言い切ることが出来ましょう。（・_・）

私達人間を取り巻く環境においては、奇跡（＝奇想天外なこと）は起こり得ません。靈魂は、ヒトの死を以て、昇天（消滅）してしまいます。

(R03.07.06)